

(令和5年11月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	11月の総入荷量は、夏季の高温や干ばつによる生育不良の影響が続いたため、前年同月比で8%下回った。総取扱金額は、前月までの高値相場がやや落ち着いたため、前年同月並みであった。今後は、生育不良は徐々に解消に向かい、平年並みの入荷が見込まれる。 12月は、雑煮大根や葉付みかん、串柿等の年末商材が入荷し、堀川ごぼうや海老いも、干柿の入荷が最盛期を迎える。果実では、早生みかんは徐々に普通みかんに切り替わり、いちご類がクリスマスや年末の需要に向けて増加する。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は7%上回った。 根菜類の入荷量は前年同月比で18%下回り、単価は18%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で4%下回ったが、単価は前年同月並みであった。 果菜類の入荷量は前年同月比で8%下回ったが、単価は4%下回った。 土物類の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は25%上回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は16%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は競合品目が品薄で引合いが強まったため16%上回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で21%下回り、単価は33%上回った。 柿類の入荷量は前年同月比で14%下回り、単価は22%上回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で6%上回ったが、単価は8%上回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん	千葉、長崎、徳島、石川、鹿児島などから入荷した。入荷量は前年同月比で１９％下回り、単価は６％上回った。
かぶ	京都を中心に滋賀からも入荷した。入荷量は前年同月比で３９％下回り、単価は４０％上回った。
西洋にんじん	長崎、北海道を中心に愛知、青森、千葉などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１５％下回り、単価は４７％上回った。
【葉菜類】 はくさい	茨城を中心に、長野、滋賀、鹿児島、岡山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で９％下回ったが、単価は９％下回った。
キャベツ	愛知を中心に茨城、滋賀、鹿児島、千葉などからも入荷した。入荷量は前年同月比で７％上回ったが、単価は需要が高かったため１９％上回った。
ほうれんそう	福岡、茨城、京都、岐阜、滋賀などから入荷した。入荷量は前年同月比で４％下回ったが、単価は前年同月並みであった。
レタス	兵庫、徳島、長崎を中心に茨城、熊本などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は需要が低かったため１４％下回った。
【果菜類】 きゅうり	宮崎を中心に滋賀、高知、佐賀、福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で６％上回り、単価は４％下回った。

なす	高知を中心に岡山、京都、香川、徳島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は8%上回った。
とまと	熊本を中心に福岡、岐阜、滋賀、京都などからも入荷した。入荷量は高温と干ばつの影響による生育不良のため前年同月比で21%下回ったが、単価は8%下回った。
ピーマン	宮崎を中心に高知、茨城、大分、韓国などからも入荷した。入荷量は前年同月比で26%上回り、単価は5%下回った。
【土物類】	
ばれいしょ (メイクイン含む)	北海道を中心に長崎からも入荷した。入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は8%上回った。
たまねぎ	北海道を中心に兵庫、中国、京都からも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は流通量の減少により高値で推移したため56%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
早生みかん	和歌山を中心に福岡、熊本、大分、香川からも入荷した。入荷量は前年同月比で６％上回ったが、単価は競合品目が品薄で引合いが強まったため１５％上回った。
富士 (サン富士含む)	長野、青森を中心に岩手、秋田、山形からも入荷した。入荷量は前年同月比で１７％下回り、単価は２９％上回った。
富有柿	奈良を中心に福岡、京都からも入荷した。入荷量は前年同月比で３％下回り、単価は２６％上回った。
アールスメロン	長崎、静岡、高知から入荷した。入荷量は好天に恵まれ生育が順調であったため前年同月比で１２％上回ったが、単価は６％上回った。